

逗子小学校 教育総合プラン実施計画・評価一覧 2008～2010

3つの柱	項目	行動プラン	今年度一部変更有り☆	評価07	学校評価課題◆	評価08	学校評価課題◆	評価09	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09
	実施計画の重点等														
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 〔実施計画の重点〕 ○教科の基礎・基本を確実に身につけさせることを優先課題とし、その基礎・基本を基にして自主的に学習に取り組むという探求型学習の獲得へと発展させる	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実 ② 読解力向上の取り組みの推進 ③ 読書活動の推進 ④ 支援教育の充実	☑ ☑ ☑ ☑	B B B A	Γ Γ Γ Γ	B B B A	Γ Γ Γ Γ		Γ	B	B		B	B	
	2 健やかな心と身体の育成 〔実施計画の重点〕 ○基本的な生活習慣やルールを守る態度を身につかせ、集団生活・社会生活に必要な態度と行動ができるようにする	① 基本的な生活習慣の育成 ② 豊かな心を育む教育の充実 ③ 豊かな体験活動の ④ 健康教育の推進	☑ ☑ ☑ Γ	B B B B	Γ Γ Γ Γ	B B B B	Γ Γ Γ Γ		Γ	B	B				
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 〔実施計画の重点〕 ○指導要領の改訂内容が明らかになり、それに向けた取り組みやこれまでの取り組みなど新しい教育課程編成や先行実施に向けた取り組みの検討を中心に進める	① 子どもの安全と安心確保の推進 ② いじめ・不登校等への対応の推進 ③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進 ④ 国際理解教育の推進 ⑤ キャリア教育の推進 ⑥ 福祉教育の推進 ⑦ 環境教育の推進 ⑧ 情報教育の推進	☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑	A A B B B A B B	Γ Γ Γ Γ Γ Γ Γ Γ	B A A A B A A B	Γ Γ Γ Γ Γ Γ Γ Γ		Γ	B	A		B	A	
	2 地域に開かれた学校づくり 〔実施計画の重点〕 ○保護者や地域への情報発信を盛んにし保護者や地域との連携を進める	① 地域への情報発信と学校公開の工夫 ② 地域教育力の活用 ③ 学校評価を生かした学校の改善	☑ ☑ ☑	A B A	Γ Γ Γ	A B A	Γ Γ Γ		Γ	A	A				
III 導力教員上の指	3 教職員の研修の充実 〔実施計画の重点〕 ○本校のめざす教師像「教師としての使命感と誇りを持ち高めあう教師」をもとに、切磋琢磨する教師集団へと努力する	① 授業研究の充実 ② 授業評価の活用 ③ 地域教材の積極的活用・開発の促進 ④ 研修事業の充実	☑ Γ Γ Γ	A A B A	Γ Γ Γ Γ	A A B A	Γ Γ Γ Γ		Γ	A	A		A	A	

〔2007年度 評価基準〕

A. 計画を上回る顕著な実践ができた

B. 計画どおり概ねできた。

C. 計画した水準まで進めなかった。

〔2008・9年度 評価基準〕

S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実）

A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた

B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた

C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた

[逗子小] 学校 2008(平成20) 年度 項目別に捉えた学校目標又は学校経営方針との関わりを踏まえた総括的な評価

3つの柱	項目	自由記述欄 〔学校目標・学校経営方針に視点を充てた総括的な評価〕
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実	指導法の工夫が行われているが、一人一人の基礎基本の習得状況(学習評価)の把握が不十分であるため、指導法の成果と関連付けられないところがある。今後の課題である。保護者と教師との学習状況の認識の差が見られるので、個別面談の充実を図り、家庭学習の協力を一層進める必要がある。
	2 健やかな心と身体の育成	オープンスペースという校舎の特色から子どもたちが開放的な気分になるところがあり、規範意識や集中力・落ち着きなどに影響が見られる。異学年齢の交流では、子どもの関わりにとって有意義な活動であるがそれを充実・発展へとつなげる次のステップが重要である。すぐれた取り組みであるが子どもの健やかな心へとつなげる検証もあわせて必要である。
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応	教育課題を整理し取り組みを進めてきており、少しずつ課題への関心が深まってきている。次は教育課程にどのように位置づけて、指導計画を作るかが求められている。また、すべてを浅く取り組むのではなく優先順位をつけて、集中的に取り組む野ではなく優先順位をつけて、集中的に取り組む必要もある。
	2 地域に開かれた学校づくり	開かれた学校づくりについては保護者の評価が高く、現在の取り組みの継続を求める意見が多い。地域の活用についても進めているが、具体的な打合せ等の時間が取れないところもあり、十分に活用されず、効果的な事業になっていない。
III 教職員の指導力向上	1 教員の指導力向上について	指導力向上につなげるために職員一人ひとりが公開授業を行っており、外部講師の方の講評も頂いている。授業技術だけでなく教材の開発や工夫など、教師としての研究心がさらに必要である。

沼間小学校 教育総合プラン実施計画・評価一覧 2008～2010

3つの柱	項目	行動プラン	今年度一部変更あり☆	評価07	学校評価課題◆	評価08	学校評価課題◆	評価09	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09
	実施計画の重点等														
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 〔実施計画の重点〕 ○基礎学力の定着のための個に応じた指導では、児童実態を踏まえた取り組みを推進する ○読解力の向上については、国語科の授業研究を通して推進していく ○読書活動の推進では、保護者による「うたひの活用を進める ○支援教育の充実では、支援委員会と交流委員会を通して職員全体で取り組むよう推進していく	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実	✓	B	Γ	A	Γ		Γ	B	A		B	A	
		② 読解力向上の取り組みの推進	✓	B	Γ	A	Γ		Γ						
		③ 読書活動の推進	Γ	B	Γ	A	Γ		Γ						
		④ 支援教育の充実	✓	B	Γ	A	✓		Γ						
	2 健やかな心と身体の育成 〔実施計画の重点〕 ○基本的な生活習慣の育成を図り、地域・保護者との連携を進めるために情報発信に努める ○豊かな心を育む教育を充実させるために家庭・地域との連携を深め、規範意識の醸成に努める ○豊かな体験活動、健康教育を推進させるために研修会を開催するなどして家庭・地域との連携を促進する	① 基本的な生活習慣の育成	Γ	B	Γ	A	Γ		Γ	B	A		B	A	
		② 豊かな心を育む教育の充実	Γ	B	Γ	A	✓		Γ						
		③ 豊かな体験活動の推進	✓	B	Γ	A	Γ		Γ						
		④ 健康教育の推進	✓	B	Γ	A	Γ		Γ						
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 〔実施計画の重点〕 ○子どもの安全と安心確保の促進を図るため、地域との連携を深めパトロール実施地区の拡大を図る ○いじめ・不登校等への対応の促進については校内の支援体制の充実と外部の専門機関との連携を図り早期発見、早期対応に努める ○幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携推進については沼間地区の特性を生かし連携・協力することにより子どもや保護者が安心して学校生活を過ごせるように努める	① 子どもの安全と安心確保の推進	✓	B	Γ	A	Γ		Γ	B	A		B	A	
		② いじめ・不登校等への対応の推進	Γ	B	Γ	A	Γ		Γ						
		③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	Γ	B	Γ	A	Γ		Γ						
		④ 国際理解教育の推進	Γ	B	Γ	A	Γ		Γ						
		⑤ キャリア教育の推進	Γ	B	Γ	B	Γ		Γ						
		⑥ 福祉教育の推進	Γ	B	Γ	A	Γ		Γ						
		⑦ 環境教育の推進	✓	B	Γ	A	Γ		Γ						
	2 地域に開かれた学校づくり 〔実施計画の重点〕 ○地域への情報発信に努めるとともに学校説明会や授業公開日等を活用する ○地域教育力の活用を図るため地域とのコミュニケーションの推進に努める ○学校評価を生かした学校の改善を図るため自己評価及び外部評価を行う	① 地域への情報発信と学校公開の工夫	✓	B	Γ	A	Γ		Γ	B	A		B	A	
		② 地域教育力の活用	Γ	B	Γ	A	Γ		Γ						
		③ 学校評価を生かした学校の改善	✓	B	Γ	A	Γ		Γ						
III 教員向上の指導	3 教職員の研修の充実 〔実施計画の重点〕 ○授業研究の充実では、外部講師の招聘を積極的に進め授業研究の活性化を図る ○授業評価の活用では、授業評価シートを活用し研究の充実を図る ○地域教材の積極的活用・開発の促進では、地域の教材の掘り起こしを行い児童の学習意欲の向上を図る	① 授業研究の充実	✓	B	Γ	B	Γ		Γ	B	B		B	B	
		② 授業評価の活用	Γ	B	Γ	B	Γ		Γ						
		③ 地域教材の積極的活用・開発の促進	Γ	B	Γ	B	Γ		Γ						
		④ 研修事業の充実	Γ	B	Γ	B	Γ		Γ						

〔2007年度 評価基準〕 A. 計画を上回る顕著な実践ができた B. 計画どおり概ねできた C. 計画した水準まで進めなかった

〔2008・9年度 評価基準〕 S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実） A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた

B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた

C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた

3つの柱	項目	自由記述欄 〔学校目標・学校経営方針に視点を充てた総括的な評価〕
I 子どもたちの 学力向上	1 個に応じた指導の充実	教育活動全体で「すすんで学ぶ子」の育成に努めたが「主体的に学ぶ姿勢を身に付け課題解決に取り組む」ことはまだ十分とは言えない。算数を中心とした少人数指導や学習支援でのTTを活用して、主体的に学ぶ姿勢を育む教育活動に取り組み、学力向上を図る。 県学習状況調査や全国学力学習状況調査における分析結果の活用を進めていく。
	2 健やかな心と身体の育成	学校では「たくましく、思いやりのある子」の育成に向けて取り組みを行ってきた。課題解決に当たっては家庭との連携が必要であり、機会ある毎に家庭生活に於ける生活習慣の定着や望ましい対人関係づくりの大切さを周知・啓発してきた。挨拶運動等は本校のみならず、沼間中学校も含め沼間地区全体を巻き込んで進め、「心の育ち」をサポートする体制づくりが進んだ。
II 課題に迅速 に対応する 学校作り	1 多様な教育課題への対応	学びの一貫性を考えると、幼・保・小・中の連携の推進が必要であるが、沼間地区としての密度の濃い取り組みが達成できてきた。 新学習指導要領の実施に向けた「確かな学力」「生きる力」を育む教育を推進する上でも、寄与する面がみられた。 「外国語活動」導入に向けた準備として、充実した研修会を開催することができた。
	2 地域に開かれた学校づくり	学校だよりを発行するだけでなく、懇談会、学校説明会など直接的なコミュニケーションを活用した情報発信に努めたことにより、学校理解が深まった。 時代の要請から、メール配信の取り組みも進めることができた。
III 教職員の指 導力向上	1 教員の指導力向上について	「楽しい授業、分かる授業」をめざし、指導力向上のために校内で授業研究を進めた。 職員構成の若年化を見据え「授業研究」を通しての、教材研究、人材育成を図ることができた。

久木小学校 教育総合プラン実施計画・評価一覧 2008～2010

3つの柱	項目	行動プラン	今年度一部変更有り☆	評価07	学校評価課題◆	評価08	学校評価課題◆	評価09	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09
	実施計画の重点等														
Ⅰ 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 〔実施計画の重点〕 ○指導と評価の一体化を図る ○学力調査・学習状況調査等の分析・活用による指導方法の工夫改善を図る ○支援教育の充実では職員全体で組織的な対応を推進 ○学習遅延に対する支援・指導の取り組みを進める	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実	┐	B	┐	A	┐		┐	B	A		B	A	
	② 読解力向上の取り組みの推進	┐	B	┐	A	┐		┐							
		③ 読書活動の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		④ 支援教育の充実	┐	B	┐	A	┐		┐						
	2 健やかな心と身体の育成 〔実施計画の重点〕 ○学校生活・家庭生活における児童の健全な生活習慣の育成 ○様々な場面・機会をとらえ豊かな心を育む情報教育の推進 ○保護者・地域・学校の協働による手作りによる学習環境の整備 ○豊かな自然体験・実物体験・鑑賞体験・ものづくり体験等を通して人間性・感性を育む教育の推進	① 基本的な生活習慣の育成	┐	B	┐	A	┐		┐	B	A				
	② 豊かな心を育む教育の充実	┐	B	┐	A	┐		┐							
		③ 豊かな体験活動の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		④ 健康教育の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
Ⅱ 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 〔実施計画の重点〕 ○「子どもの安全の確保」「不登校・いじめ対応」「当番活動の充実」を重点的な課題として組織的に課題解決にあたる	① 子どもの安全と安心確保の推進	┐	B	┐	A	┐		┐	B	A		B	A	
	② いじめ・不登校等への対応の推進	┐	B	┐	A	┐		┐							
		③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		④ 国際理解教育の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		⑤ キャリア教育の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		⑥ 福祉教育の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		⑦ 環境教育の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		⑧ 情報教育の推進	┐	B	┐	A	┐		┐						
	2 地域に開かれた学校づくり 〔実施計画の重点〕 ○積極的な学校情報の発信・地域家庭情報の受信に努める ○学校行事・地域行事等における交流をさらに深める ○地域・保護者との連携協力による手作りの学習環境の整備充実 ○学習・行事・環境整備等における積極的な外部人材の活用 ○教育活動に活かす学校評価の実施	① 地域への情報発信と学校公開の工夫	┐	B	┐	A	┐		┐	B	A				
	② 地域教育力の活用	┐	B	┐	A	┐		┐							
		③ 学校評価を生かした学校の改善	┐	B	┐	A	┐		┐						
Ⅲ 教員上の指導力向上	3 教職員の研修の充実 〔実施計画の重点〕 ○急激な教職員の世代交代が進む中、授業をはじめとする指導力の向上は本校にとって最も大きな課題である。教育課程の編成をより適正で計画的なものにすることによって、個々の力向上・ベテランから若手へのバトンタッチを図る。	① 授業研究の充実	┐	B	┐	A	┐		┐	B	A		B	A	
	② 授業評価の活用	┐	B	┐	A	┐		┐							
		③ 地域教材の積極的活用・開発の促進	┐	B	┐	A	┐		┐						
		④ 研修事業の充実	┐	B	┐	A	┐		┐						

〔2007年度 評価基準〕 A. 計画を上回る顕著な実践ができた B. 計画どおり概ねできた。 C. 計画した水準まで進めなかった。

〔2008・9年度 評価基準〕 S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実） A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた

[久木小] 学校 2008(平成20) 年度 項目別に捉えた学校目標又は学校経営方針との関わりを踏まえた総括的な評価

3つの柱	項 目	自由記述欄 [学校目標・学校経営方針に視点を充てた総括的な評価]
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実	学力学習状況調査等の分析を各学年に報告し、本校の課題を確認した。全教職員で支援教育の体制づくりをし、学習遅進に対する支援・指導の充実を図った。夏季休業中には、2年生以上の学年を対象に学習支援教室を実施した。
	2 健やかな心と身体の育成	保護者・地域・学校の協同により計画的に学習環境整備に取り組むことができた。(校内ペンキ塗り、敷地内の植樹等) 地域・外部の講師を呼び、表現活動や鑑賞活動を積極的に行うことができた。特に2・3・5年生では、県アート活用事業で造形表現、演劇表現の機会を得ることができ、貴重な体験ができた。
II 課題に迅速に対応する 学校づくり	1 多様な教育課題への対応	児童指導支援部を中心とし、個別支援に対応できる整備を進めた。また、保護者や他機関との連携にも力を入れ、迅速な対応に努めた。子どもたちの発達段階に応じた福祉教育や人権教育を推進することができた。(3・5年は障害者の方・盲導犬から学ぶ。6年は被爆者の会からの講義等)
	2 地域に開かれた学校づくり	学校だより、ホームページ、掲示板や学年・学級懇談会等を活用して、積極的に地域家庭情報の受信に取り組むことができた。外部人材の活用として、サポートシステムを立ち上げたり、保護者ボランティアを募ったりしながら、学校全体の整理調整を行った。
III 教職員の指導力向上	1 教員の指導力向上について	校内研究を中心に、授業研究の活性化に取り組んだ。授業協力者や講師を積極的に活用し、様々な意見交換を行い授業の改善に取り組むことができた。

小 坪 小 学 校 教 育 総 合 プ ラ ン 実 施 計 画 ・ 評 価 一 覧 2008 ～ 2010

3つの柱	項 目	行 動 プ ラ ン	今年度一部変更有り☆	評価07	学校評価課題◆	評価08	学校評価課題◆	評価09	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09
	実施計画の重点等														
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 〔実施計画の重点〕 ○基礎学力の定着のため算数科において少人数指導を行い個に応じた基礎基本の定着化と計算テスト・漢字テストを行い分析を進め計算する力等の定着を図る ○読解力向上の取り組みの推進では「1コーソ」の育成を図るための研究・研修 ○読書推進活動では2004・5年度の研究成果を活用。図書ラウンジ活動継続。支援教育では校内支援教育チームの活用、組織的取り組みの推進	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実 ② 読解力向上の取り組みの推進 ③ 読書活動の推進 ④ 支援教育の充実	Γ	B	✓	A	✓		Γ	B	A		B	B	
	2 健やかな心と身体の育成 〔実施計画の重点〕 ○学校教育目標「自分も人も大切に」に係わって基本的行動目標・学年別行動目標を立て年間を通して指導 ○保護者・地域への広報活動 ○縦割り集団活動の意識 ○小坪の自然、人等地域を生かした教育活動 ○心の健康のための諸支援活動の充実	① 基本的な生活習慣の育成 ② 豊かな心を育む教育の充実 ③ 豊かな体験活動の推進 ④ 健康教育の推進	Γ	B	Γ	A	✓		Γ	B	B				
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 〔実施計画の重点〕 ○多様な教育課題への対応を図るため「総合的な学習の時間」における全体計画の中に学習活動を位置づけると共に年間指導計画を明確にし職員全体で取り組む ○児童が安心して学校生活を送れるよう保護者・地域と安全対策に努め、児童自らが危険を回避できるような力の育成 ○いじめや不登校等に係わる課題に関して早期発見、対応できる体制でのぞむ	① 子どもの安全と安心確保の推進 ② いじめ・不登校等への対応の推進 ③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進 ④ 国際理解教育の推進 ⑤ キャリア教育の推進 ⑥ 福祉教育の推進 ⑦ 環境教育の推進 ⑧ 情報教育の推進	Γ	B	✓	A	Γ		Γ	B	A		B	A	
	2 地域に関わった学校づくり 〔実施計画の重点〕 ○地域に関わった学校づくりに向けて情報教育担当設置、学校ホームページの充実 ○あらゆる機会に保護者・地域への周知 ○小坪の自然・社会・人等地域の資源を十二分に生かした教育活動の展開 ○次年度につながる学校評価	① 地域への情報発信と学校公開の工夫 ② 地域教育力の活用 ③ 学校評価を生かした学校の改善	Γ	B	✓	A	Γ		Γ	B	A				
III 教員上の指導力向上	3 教職員の研修の充実 〔実施計画の重点〕 ○授業研究の充実では「コミュニケーション向上」をテーマに低・中・高・あおぞらPで研究を進め一人一回を目標に授業公開 ○授業評価の活用では算数科において昨年度実施の一斉テストを分析、基礎・基本の定着を図る ○地域教材の活用・開発の促進では地域素材の教材料を目指し講師による研修会実施 ○研修事業の充実では地域素材を生かした授業づくりにつながる研修及び教材研究、授業づくりの観点から夏季休業中に研修の実施	① 授業研究の充実 ② 授業評価の活用 ③ 地域教材の積極的活用・開発の促進 ④ 研修事業の充実	Γ	A	Γ	A	Γ		Γ	B	A		B	A	

〔2007年度 評価基準〕 A. 計画を上回る顕著な実践ができた、 B. 計画どおり概ねできた。 C. 計画した水準まで進めなかった。

〔2008・9年度 評価基準〕 S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実） A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた
B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた

[小坪小] 学校 2008(平成20) 年度 項目別に捉えた学校目標又は学校経営方針との関わりを踏まえた総括的な評価

3つの柱	項 目	自由記述欄 〔学校目標・学校経営方針に視点を充てた総括的な評価〕
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実	<p>少人数指導、読書推進活動、支援教育いずれにおいても年間計画をたて組織的に取り組んだ。学校独自に学年末診断テストを各学年で行い習熟の様子を見るとともに、次年度の学習に生かしている。</p>
	2 健やかな心と身体の育成	<p>行動目標を作成し、各学年の発達段階に応じた連続性のある指導を行った。地域の方々や施設との交流などふれあい教育を計画的に行っているが、学校の全体計画としてのねらいの見直しが課題である。</p>
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応	<p>今年度は不審者対応訓練を児童の教室に実際に不審者役を侵入させ、昨年に引き続き段階的な訓練を行った。地域の安全マップはPTAと協力して見直し、指導の徹底をはかった。次年度は児童に縮小版を配布し日常的な指導を行う予定である。いじめへの対応については担当を中心に日常的に取り組んだが、対応についての課題が残った。早期発見、早期対応へのいっそうの取り組みが必要である。</p>
	2 地域に開かれた学校づくり	<p>地域の教育力の活用という点で活動は充実しつつあるが、学校の考え方や活動のねらいなどを伝えていく取り組みが十分でなかった。 学校評価の取り組みを日常的にするために、新しい評価の方法を考えたい。</p>
III 教職員の指導力向上	1 教員の指導力向上について	<p>・学校組織の改善を図り、授業改善の取り組みの強化も踏まえ昨年の「教育研究部」を「カリキュラム担当部」に変え、校内研究が常に教育課程につながるようにした。本年度は校内研究のテーマを「コミュニケーション力の向上を目指した授業研究」とし、全員が研究授業を行った。研究会において講師を招き、授業力の向上を図っている。本年度の授業づくりに向けての講師は横浜国立大学の高木展郎教授、宮城教育大学の相澤秀夫教授他。次年度の研究のまとめに向けて充実した取り組みができた。</p>

池子小学校 教育総合プラン実施計画・評価一覧 2008～2010

3つの柱	項目	行動プラン	今年度一部変更有り☆	評価07	学校評価課題◆	評価08	学校評価課題◆	評価09	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09	
	実施計画の重点等															
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 〔実施計画の重点〕 ○基礎学力定着のための個に応じた指導では、児童実態の把握を行い、基礎基本定着のため指導法の改善及び学習支援を進める ○読書活動推進のため、学習支援カードの活用を進めると共に保護者・地域との連携を図り読書活動のネットワークを広げる ○支援教育充実のため、教育相談・ティネーを中心とした校内児童指導支援体制の確立を図り、組織的取り組みを進める	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実 ② 読解力向上の取り組みの推進 ③ 読書活動の推進 ④ 支援教育の充実	☑	C	Γ	A	☑		Γ							
	2 健やかな心と身体の育成 〔実施計画の重点〕 ○基本的な生活習慣の育成については、家庭・学校・地域が協力して規則正しい生活習慣・健全な規範意識の育成を進める ○小規模校の特性を生かし「縦割り活動」「ふれあい行事」「キャンプ・修学旅行」の取り組みを通して豊かな体験活動・豊かな心を育む教育を進める ○家庭・地域と連携しながら健康教育を進める	① 基本的な生活習慣の育成 ② 豊かな心を育む教育の充実 ③ 豊かな体験活動の推進 ④ 健康教育の推進	Γ	B	☑	A	Γ		Γ					B	A	
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 〔実施計画の重点〕 ○学校と保護者・地域の連携を深め、児童の安全・安心確保に取り組む ○教育相談・ティネーを中心とした校内児童指導体制の確立を図り、いじめ・不登校について迅速な対応ができるようにする ○環境教育について、取り巻く環境を見つめ、その良さや課題を認識し、よりよい環境作りに取り組む	① 子どもの安全と安心確保の推進 ② いじめ・不登校等への対応の推進 ③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進 ④ 国際理解教育の推進 ⑤ キャリア教育の推進 ⑥ 福祉教育の推進 ⑦ 環境教育の推進 ⑧ 情報教育の推進	Γ	A	☑	A	Γ		Γ							
	2 地域に開かれた学校づくり 〔実施計画の重点〕 ○学校だより、ホームページ、学校公開等を通じ、学校の情報を積極的に発信する ○学校評価により教育活動の成果と課題を明確にし、学校運営に生かす	① 地域への情報発信と学校公開の工夫 ② 地域教育力の活用 ③ 学校評価を生かした学校の改善	☑	A	☑	S	☑		Γ							
III 力教員上の指導	3 教職員の研修の充実 〔実施計画の重点〕 ○教員の指導力向上のため、授業研究の活性化を図る ○指導と評価の一体化を目指し、実践の積み重ねを進めながら授業改善を図る ○研修会の充実を図ると共に、地域教材の活用・開発を進める	① 授業研究の充実 ② 授業評価の活用 ③ 地域教材の積極的活用・開発の促進 ④ 研修事業の充実	☑	A	☑	A	☑		Γ							
〔2007年度 評価基準〕			A. 計画を上回る顕著な実践ができた			B. 計画どおり概ねできた。			C. 計画した水準まで進めなかった。							
〔2008・9年度 評価基準〕			S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実）						A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた							
			B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた						C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた							

[逗子市立池子小] 学校 2008(平成20) 年度 項目別に捉えた学校目標又は学校経営方針との関わりを踏まえた総括

3つの柱	項 目	自 由 記 述 欄
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導・TT・専科等、多様な学習形態の在り方を検討し、個に応じた指導の充実に取り組み、指導効果が見られた。今年度の成果を踏まえ、単級の学年は多くの教師の眼で児童を指導する体制を整える。 ・児童指導支援への組織的取り組みにより、児童の実態に応じた対応が可能になった。次年度も継続して問題解決に取り組む。
	2 健やかな心と身体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力調査等の資料を参考に健康づくりの取り組みを進める。次年度は食育の充実に向けて指導計画を作成し、実践していきたい。また、継続して保護者との連携により基本的な生活習慣の改善を目指す。 ・ふれあい行事・たてわり活動を通し、地域の方々との交流や異年齢交流を進めた。また、あいさつ運動、コミュニケーション力を育てる取り組みについて研修等を行ってきた。継続して豊かな人間関係づくりを進めていく。
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度発足した逗子中との小中連携担当者会を生かしてよりよい連携の在り方を検討し、具体的な取り組みを進める。 ・これまでの国際理解教育や英語教育在り方検討委員会の活動により一定の成果をあげてきた。それをベースに新指導要領移行期間の英語活動への取り組みを進める。
	2 地域に開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信・情報提供については保護者アンケートでもよい評価となった。次年度も一層の充実を図りたい。 ・今年度は、地域連携推進事業委託を受け、池子お話会との連携で読書推進活動を進めた。学校支援地域本部立ち上げに向けて、幅広く支援ボランティアの活用を進めたい。
III 教職員の指導力向上	1 教員の指導力向上について	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究では、講師の指導助言を受け、教諭全員が研究授業を行った。逗子市授業研究推進校委託も受け、「子ども同士が学び合う学習」をテーマに研究してきた。次年度は、新指導要領の学力観に基づいた授業研究を進めていきたい。 ・今年度は、地域性を生かした実践がいくつか行われた。その成果を湘三教育課程研究会で提案した。次年度も地域に根ざした学習に取り組む。「特色ある学校づくり」として計画している郷土資料室の整備・活用もこの一環として位置づける。

逗子中学校 教育総合プラン実施計画・評価一覧 2008～2010

3つの柱	項目	行動プラン	今年度一部変更有り☆	評価07	重点目標	学校評価課題◆	評価08	重点目標	学校評価課題◆	評価09	重点目標	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09	
	実施計画の重点等		07	08	09	07	08	09											
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 <small>〔実施計画の重点〕 ○指導法の工夫改善を図り基礎・基本や自ら学び考える力の育成 ○少人数指導の充実と成果の数値化 ○学習支援シートを作成し生徒への支援体制確立 ○読解力向上と読書活動の推進</small>	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実	☑	B	Γ	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	B	A		B	A		
		② 読解力向上の取り組みの推進	Γ	C	Γ	B	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
		③ 読書活動の推進	☑	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
		④ 支援教育の充実	☑	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
	2 健やかな心と身体の育成 <small>○心の教育の充実 ○食育の推進のため全体計画を立案し実施 ○くらしに運動・スポーツの習慣をつけるため3033運動の推進</small>	① 基本的な生活習慣の育成	☑	C	Γ	B	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	C	B					
		② 豊かな心を育む教育の充実	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
		③ 豊かな体験活動の	Γ	C	Γ	B	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
		④ 健康教育の推進	☑	C	Γ	B	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 <small>〔実施計画の重点〕 ○魅力と特色のある学校づくり ○課題の整理と組織の機動化、外部機関との連携による対応 ○安全・安心な学校づくり、生徒の防災・防犯意識の向上推進 ○総合的な学習の充実、知識を生かす力の育成</small>	① 子どもの安全と安心確保の推進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	B	A			B	A		
		② いじめ・不登校等への対応の推進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
		③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	☑	C	Γ	S	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
		④ 国際理解教育の推進	☑	C	Γ	B	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
		⑤ キャリア教育の推進	☑	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
		⑥ 福祉教育の推進	Γ	C	Γ	B	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
		⑦ 環境教育の推進	☑	B	Γ	S	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
	2 地域に開かれた学校づくり <small>〔実施計画の重点〕 ○学校・家庭・地域の願いの共有と役割分担 ○環境・福祉・読書などを通して教員と保護者・地域との円滑なコミュニケーションの推進 ○内部・外部評価・PDCAサイクルによる改善システムの運用 ○地域の人材把握と活用 連携組織づくり 防災防災協力関係向上</small>	① 地域への情報発信と学校公開の工夫	Γ	A	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	B	A					
		② 地域教育力の活用	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
		③ 学校評価を生かした学校の改善	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ							
III 導力教員への指導	3 教員研修の充実 <small>〔実施計画の重点〕 ○「目指す生徒像・育てたい力」を実現する授業実践 ○「学意欲を引き出し自ら学び考える力の育成」研究授業の積極的実践と課題研修レポート ○研修・研究会・担当者会の報告による情報の共有化・実践化</small>	① 授業研究の充実	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ	B	A		B	A			
		② 授業評価の活用	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
		③ 地域教材の積極的活用・開発の促進	☑	B	Γ	B	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
		④ 研修事業の充実	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	Γ	Γ								Γ
〔2007年度 評価基準〕			A. 計画を上回る顕著な実践ができた			B. 計画どおり概ねできた。			C. 計画した水準まで進めなかった。										
〔2008・9年度 評価基準〕			S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実）						A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた										
			B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた						C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた										

〔逗子中〕学校 2008(平成20)年度 項目別に捉えた学校目標又は学校経営方針との関わりを踏まえた総括的な評価

3つの柱	項目	自由記述欄 〔学校目標・学校経営方針に視点を充てた総括的な評価〕
Ⅰ 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実	逗子中学校重点目標「個に応じた指導の充実」と対応 「意欲を引き出し自ら学び考える」をテーマとした全教員年2回の研究授業の実施、夏のoasis・補習及び冬の教科相談、教科だよりの発行、学習支援シートの作成、図書館の蔵書1万冊のデータベース化等の成果があった。評議員からは「先生が双方向の授業をつくろうと努力している」という授業参観の感想をいただいた。
	2 健やかな心と身体の育成	逗子中学校重点目標「よりよい習慣づけ」「家庭・地域との連携・協働」と対応 挨拶運動、環境学習としての3R運動、授業や家庭学習における振り返りの重視等の成果があった。
Ⅱ 課題に迅速に対応する 学校作り	1 多様な教育課題への対応	逗子中学校重点目標との明確な対応はない ただ、環境学習は重点的に取り組み、来年度地域とも連携して「蛍の里づくり」に取り組む。人権教育、健康教育についても、講演会の実施等取り組んだ。福祉教育・国際理解教育等については、総合や教科の全体計画に計画的に取り込む必要がある。
	2 地域に開かれた学校づくり	逗子中学校重点目標「家庭・地域との連携・協働」と対応 学校だより(資料7)・HPの充実、メールサービスの開始、地域と連携した地域清掃・自然環境フィールドワークの実施、学校支援地域本部を見通した地域コーディネーターの任命、小中連携担当者会の開催等の成果があった。評議員からは「蛍の里づくりは地域にも呼びかけられる良い取組だ。」という評価をいただいた。
Ⅲ 教職員の指導力向上	1 教員の指導力向上について	逗子中学校重点目標「個に応じた指導の充実」と対応 グランドデザインにコンピテンシーを銘記し、授業との関連を模索、メンタリングとBS(brother and sister)制の試行等の成果があった。評議員からは「ビジョンが明確で、生徒にどういふ力をつけさせていくか、教員の共通理解ができている。」という評価をいただいた。

久木中学校 教育総合プラン実施計画・評価一覧 2008～2010

3つの柱	項目	行動プラン	今年度一部変更有り☆	評価07	学校評価課題◆	評価08	学校評価課題◆	評価09	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09
	実施計画の重点等														
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 〔実施計画の重点〕 ○少人数授業の充実 ○選択授業の充実 ○補足的な授業の推進 ○学習相談・教育相談の充実 ○朝読書の推進	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実 ② 読解力向上の取り組みの推進 ③ 読書活動の推進 ④ 支援教育の充実	☑ ☑ ☑ ☑	B B B B	Γ ☑ Γ Γ	A A B S	Γ ☑ ☑ Γ		Γ	B	A		B	A	
	2 健やかな心と身体の育成 〔実施計画の重点〕 ○道徳授業・学級活動・朝読書の充実 ○不登校・いじめ問題への積極的な取り組み ○2次-3次ケア・心の教育相談員・教育研究所相談員・適応指導教室・民生委員・他機関等との連携 ○N/A加算の充実	① 基本的な生活習慣の育成 ② 豊かな心を育む教育の充実 ③ 豊かな体験活動の推進 ④ 健康教育の推進	☑ Γ Γ ☑	B C B C	Γ ☑ Γ ☑	B A A A	Γ Γ Γ ☑		Γ	B	A			B	A
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 〔実施計画の重点〕 ○確かな学力・主体的な学習態度の育成 ○心の教育の推進と生徒指導の充実 ○教育環境整備と保健・安全教育の推進	① 子どもの安全と安心確保の推進 ② いじめ・不登校等への対応の推進 ③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進 ④ 国際理解教育の推進 ⑤ キャリア教育の推進 ⑥ 福祉教育の推進 ⑦ 環境教育の推進 ⑧ 情報教育の推進	☑ Γ ☑ Γ Γ ☑ ☑ ☑	B B B C B B B C	☑ ☑ Γ ☑ Γ Γ Γ Γ	A S A A A A A A	☑ Γ ☑ ☑ Γ Γ Γ ☑		Γ	B	A		B	A	
	2 地域に開かれた学校づくり 〔実施計画の重点〕 ○地域とのふれあい活動の充実 ○地域に開かれた学校づくりに関する教職員の意識の改革 ○学校評議員や学校評価委員による学校評価を教育活動に活かす	① 地域への情報発信と学校公開の工夫 ② 地域教育力の活用 ③ 学校評価を生かした学校の改善	☑ Γ ☑	B B A	Γ Γ Γ	B B A	Γ Γ Γ		Γ	B	B			B	A
III 導力教員上の指	3 教職員の研修の充実 〔実施計画の重点〕 ○適切な授業評価の方法の研究と実践指導力を養う。 ○世代間交流を通して、経験の浅い教員の力量を高める等積極的育成に当たる。 ○地域の素材、人材開発等、地域の協力を仰ぐ。 ○教師の力量を高めるための研修の充実	① 授業研究の充実 ② 授業評価の活用 ③ 地域教材の積極的活用・開発の促進 ④ 研修事業の充実	☑ ☑ ☑ Γ	B B C B	☑ Γ Γ ☑	S B A A	Γ Γ Γ Γ		Γ	B	A		B	A	
〔2007年度 評価基準〕			A. 計画を上回る顕著な実践ができた			B. 計画どおり概ねできた。			C. 計画した水準まで進めかった。						
〔2008・9年度 評価基準〕			S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実）			A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた			B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた						
									C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた						

[久木中] 学校 2008(平成20) 年度 項目別に捉えた学校目標又は学校経営方針との関わりを踏まえた総括的な評価

3つの柱	項 目	自 由 記 述 欄 〔学校目標・学校経営方針に視点を充てた総括的な評価〕
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実	少人数授業を全学年共に習熟度別学習に、また選択授業では各グループが少人数で活動できるように同教科でもグループ数を増やした。個人カルテについては支援教育委員会の取り組みの中で個人ファイルとして情報を管理するようにした。長期休業中やテスト前の補習・教育相談は定着した。読解力については朝読書を含め、国語科以外の教科も計画的に取り組みを始めた。支援教育委員会を中心に個人支援の取り組み計画を進める準備を始めた。
	2 健やかな心と身体の育成	学校生活の基本的な決まりを確認する意味で生徒指導マニュアルの周知を行い。また、PTAに協力依頼し生徒の登下校指導を計画的に行い連携を深めた。学校生活や体育祭等の行事を含めて挨拶運動の定着化、ブロック活動の充実を目指した。また、総合学習を中心に3年間を見通して指導計画を作成した。地域講師を利用して健康教育・安全教育の定着を図った。
II 課題に迅速に対応する 学校作り	1 多様な教育課題への対応	安全管理マニュアルの再検討が終了した。また、緊急対応マニュアルの再検討が終了した。教育相談については支援教育委員会を中心に21年度からの取り組みが決定した。幼少中との連携については20年度は英語の出前授業を行った。21年度からの小学校の英語授業導入により計画的な取り組みを予定している。支援シートについては特別支援学級を中心にスタートした。国際理解については火曜日に2年生を中心に英会話教育を実施した。キャリア教育については各学年に応じた講師を依頼し充実を図った。グリーンカーテンでは生徒協力により水まきを計画的に行った。ミックス用紙等のリサイクル活動も生徒会を中心に取り組み成果を上げている。
	2 地域に開かれた学校づくり	19年度よりホームページの更新、学校だよりの発行等計画的に行い充実した情報発信ができた。授業参観や行事等を通して学校を地域や家庭に公開する事ができた。地域ボランティア活用については行事や部活では計画的にされているが教育課程には位置づけられていない。検討が必要。学校評価員制度を導入した。
III 教職員の指導力向上	1 教員の指導力向上について	新指導要領を見据えた授業研究を行い、全員が授業評価を考えた研究授業を行い、年2回の研究会を実施した。総合学習のキャリア教育において地域教材活用の開発に取り組んだ。

沼間中学校 教育総合プラン実施計画・評価一覧 2008～2010

3つの柱	項目	行動プラン	今年度一部変更有り☆	評価07	学校評価課題◆	評価08	学校評価課題◆	評価09	学校評価課題◆	項目別平均07	項目別平均08	項目別平均09	柱別平均07	柱別平均08	柱別平均09		
	実施計画の重点等																
Ⅰ 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実 〔実施計画の重点〕 ○基礎学力の定着のための個に応じた指導では、夏休みにおける学習の連続性も図りながら、発展的な学習・補充的な学習を並行しての推進。○読解力の向上、読書活動の推進では、国語科だけに委ねるのではなく、全教科が連携して推進。○支援教育では教育相談・アドバイザーを中心に教育相談連携計画を再構築、スクールカウンセラー、うるおいワイド、職員全体で取り組み推進。	① 基礎学力定着のための個に応じた指導の充実	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
		② 読解力向上の取り組みの推進	Γ	B	Γ	B	Γ	Γ	Γ	B	A						
		③ 読書活動の推進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
		④ 支援教育の充実	Γ	B	✓	B	✓	Γ	Γ					B	A		
	2 健やかな心と身体の育成 ○全教職員の共通理解の下に「心の五か条」の定着を図る。○豊かな心がバランスよく身についた生徒の育成に努める。○神奈川県庁体健推進校として体力づくり・健康づくり・健康教育・食教育の3本柱で研究を進める。○行事や部活動に意欲的に取り組む生徒の育成に努める。	① 基本的な生活習慣の育成	Γ	B	Γ	B	Γ	Γ	Γ								
		② 豊かな心を育む教育の充実	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	B	A						
		③ 豊かな体験活動の推進	✓	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
		④ 健康教育の推進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
Ⅱ 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応 〔実施計画の重点〕 ○2年目を迎える校務分掌組織が、教育課題に迅速かつ機能的に対応できる組織としてより有効になるよう検証に励み改善 ○小中連携を深め、生徒が中学校生活に速やかに適応していけるよう具体的な手だてを講じる ○20周年に向けて校舎点検の徹底 ○安心できる学校づくりに生徒が参加する体制を創る ○支援体制の確立	① 子どもの安全と安心確保の推進	Γ	B	Γ	B	Γ	Γ	Γ								
		② いじめ・不登校等への対応の推進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
		③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	Γ	A	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
		④ 国際理解教育の推進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	B	A						
		⑤ キャリア教育の推進	✓	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
		⑥ 福祉教育の推進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ					B	A		
		⑦ 環境教育の推進	✓	B	Γ	B	Γ	Γ	Γ								
		⑧ 情報教育の推進	✓	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
	2 地域に開かれた学校づくり 〔実施計画の重点〕 ○学校の教育活動を積極的に公開し、課題を共有することで子どもへの成長支援を広げる。○学校全体の広報活動を充実させ保護者、地域に校内活動の情報を発信。○図書館ボランティアの募集と図書館活用の充実	① 地域への情報発信と学校公開の工夫	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
		② 地域教育力の活用	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	B	A						
Ⅲ 導力教員向上の指	3 教職員の研修の充実 〔実施計画の重点〕 ○基礎・基本の定着を基盤とした「自ら学び考え、判断し、行動できる生徒」の育成を目指し、校内研究会の充実 ○教職員の人間力の向上を目指し、幅広い見地からの研修の設定	① 授業研究の充実	✓	B	✓	B	✓	Γ	Γ								
		② 授業評価の活用	✓	B	✓	A	✓	Γ									
		③ 地域教材の積極的活用・開発の促進	Γ	B	Γ	A	Γ	Γ	Γ	B	A			B	A		
		④ 研修事業の充実	Γ	A	Γ	A	Γ	Γ	Γ								
〔2007年度 評価基準〕			A. 計画を上回る顕著な実践ができた			B. 計画どおり概ねできた。			C. 計画した水準まで進めなかった。								
〔2008・9年度 評価基準〕			S. 行動プランの水準を上回ることができた（次年度のプランを先行実施又は詳細にわたって充実）						A. 行動プランの全体を水準まで進めることができた								
			B. 行動プランの一部を水準まで進めることができた						C. 行動プランの全体を水準まで進めることができた								

[沼間中] 学校 2008(平成20) 年度 項目別に捉えた学校目標又は学校経営方針との関わりを踏まえた総括的な評価

3つの柱	項 目	自 由 記 述 欄 〔学校目標・学校経営方針に視点を充てた総括的な評価〕
I 子どもたちの学力向上	1 個に応じた指導の充実	学校教育目標における、めざす生徒像「確かな学力」の育成について、習熟度別少人数授業など日々の実践と校内研究を通して、わかる授業を目指した。少人数授業のクラス分けの方法等については、教科や単元等の授業内容、生徒の実態に応じてよりよい方法で柔軟に対応していく必要がある。夏季休業中の補充学習を、英検等の資格取得を中心に行ってきたが、補習を中心に変更していく。また、支援教育については校内研修会を重ね、より一層理解を深めていく。
	2 健やかな心と身体の育成	「健やかな体」「豊かな心」については心身ともに健康な生徒の育成を目指し、かながわイキイキスクール実践研究校として地域保護者の協力により、「食育」等の健康教育を展開した。また、生徒の実態に合わせた人権教育を道徳の授業を中心に推進し、豊かな体験活動としては職業体験を今年度から2日間に延長し充実を図った。基本的な生活習慣の確立のため、あいさつ運動を保護者の方とともに展開し定着したが、遅刻や服装の乱れ等については今後の課題である。
II 課題に迅速に対応する学校作り	1 多様な教育課題への対応	生徒が安心して通える学校を目指し、支援が必要な生徒に対する組織的な対応を、外部機関との連携を図る中で改善した。小中連携は一小一中の関係を生かし、今後とも継続し発展させていく。総合の授業時数削減については、重点化と内容の精選を行う。安全については職員のさらなる意識向上が必要である。また、環境教育は学校生活のあらゆる場面を捉え、日常的な問題であるという意識を高める必要がある。
	2 地域に開かれた学校づくり	開かれた学校づくりでは、地域講師による授業や体験学習、地域行事への参加、地域防災や地域清掃等の交流など、様々な取り組みを行っている。しかし、情報の発信については、ホームページの更新や学校だより、学年学級通信の充実が必要である。また、学校をもっと知ってもらうためには、行事をはじめとする機会の内容改善や実施時期を見直す。その上で、保護者地域と一体となった学校運営を目指す。
III 教職員の指導力向上	1 教員の指導力向上について	「確かな学力」の育成のため「わかる授業」を目指し、生徒保護者による授業評価を実施し改善に取り組み、また外部講師を招いて校内研修会等を実施した。また、授業内での基本的な生活習慣の指導や、他を思いやる心等の道徳的内容にも取り組む必要がある。研究授業の実施方法については、より効果的な取り組みを目指し改善を図る。また、生徒理解を深めるためには職員会議での情報交換だけでなく、毎週行われている学年代表者会、部長会での学年をこえた情報交換も継続していく。